

## 「生徒の資質・能力の伸長を図る教育課程」の実現に向けて

- ・学校教育目標や教育ビジョンを踏まえて、カリキュラムマネジメントを行う。
  - 中等教育で学ぶべき内容を、しっかりと身につけさせる。特に、「学校で学ぶ」ことを主眼に置き、全範囲に渡り広く学習できるように準備する。
  - 全範囲に学習させることから、国公立大学受験にも対応できる様にする。学ぶ楽しさを味合わせるように、授業実践する。
  - 1・2学年での類型化は最小限に抑えて、3学年での必修選択・自由選択で類型化に対応させる。
- ・新学習指導要領が目指す姿との整合性を図る。
  - 学習する子どもの視点に立ち、教育課程全体や各教科等の学びを通じて、「何ができるようになるのか」という観点から、育成を目指す資質・能力を整理する。
  - 整理された資質・能力を育成するために、「何を学ぶのか」という、必要な指導内容を検討する。
  - その内容を、「どのように学ぶのか」という、子どもたちの具体的な学びの姿を考えながら構成する。

・カリキュラムマネジメントにより、教科の各単元の要所に「主体的・対話的で深い学び」を取り入れて、生徒の資質・能力を育む。

### ※教育課程編成の原則

- ・教育基本法、学校教育法、学習指導要領等の法令に従う。
  - ・人間として知・徳・体の調和のとれた育成を目指す。
  - ・地域や学校の実態を把握して、教育目標を達成できるように構成する。
  - ・必修科目、卒業単位数等の基礎要件を踏まえる。
  - ・心身の発達段階、特性を考慮して、その伸長を図る。
- 
- 「教科・科目の配置」
  - 「総合的な探究（学習）の時間」の活用
  - 「特別活動」
- <本校の生徒の育てたい資質・能力について、確認してそれぞれについて検討する。>

# 東大和生に身につけさせたい資質・能力

## 考えたことを試す力

### 実践力・行動力

- 1 進路目標を立てて計画でき、主体的に生き方を選択できる力（自律的活動力）
- 2 多様な人と協働して、対話を通して他人と関わる力（人間関係形成力）
- 3 身近な情報に目や耳を傾け、地域に貢献できる力（社会参画力）
- 4 自ら率先して、興味・関心を持ち行動する力（積極的行動力）

## 考える力

### 思考力

- 1 物事を様々な観点から捉えて、論理的に考える力（論理的・批判的思考力）
- 2 問題点を見いだしたり、その解決策を考えたりする力（課題発見・解決力）
- 3 新しいアイデアや作品を生み出して、表現する力（創造力）
- 4 客観的に自分を見つめて、分析や修正をする力（認知的・適応的学習力）

## 考えるために必要な力

### 基礎力

- 1 言葉の意味を、多岐にわたって把握する力（語彙力）
- 2 文章、グラフ、図形、地図等の意図を正しく読み解く力（読解力）
- 3 ICT機器等を用い、外部から情報を収集して、活用する力(情報処理力)
- 4 目標に応じて、数を正しく使いこなす力（計算力）
- 5 心身の状況を正しく把握して、良い状態を保つ力（体力）